

平成21年度 第10回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成22年2月19日（金） 15：00～17：00

場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

出席者： 7名 田名勉（友声会：患者） 玉城徳正（患者遺族）

樋口美智子（那覇市立病院）

石郷岡美穂（琉球大学医学部附属病院） 金城尚美（沖縄県立中部病院）

欠席者： 2名 仲村 実和子（北部地区医師会病院） 増田昌人（琉球大学医学部附属病院）

陪席者： 2名 西田悠希子 城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成21年度第9回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について

資料2に基づき、2月に行われたがん患者ゆんたく会について各拠点病院担当委員より報告があった。その中で、2月6日に開催された沖縄がん患者合同ゆんたく会では、各地域のゆんたく会の活動内容が報告され意見交換も行われた。また、今後の合同ゆんたく会のあり方についてフリーディスカッションが行われ、多くの患者さんやそのご家族の意見を行政に訴えるためにも連合会は必要であること、継続して開催することについて、全会一致で承認された。

2. がん相談件数（1月分）

北部地区医師会	1月	2件
沖縄県立中部病院	1月	7件
那覇市立病院	1月	8件
琉大病院	1月	5件

3. 第9回がん相談支援員実務者研修会について（2月10日実施）

資料4に基づき、樋口部会長より研修会について報告がなされた。今回は「5大がん地域連携クリティカルパス」をテーマとし、42人の医療関係者が参加したことが報告された。この5大がんクリティカルパスは4月1日より運用開始となり、3月4日にも利用に関する研修会が那覇市立病院で開催されることが報告された。

4. その他

がんセンター西田より、患者必携(地域情報)沖縄県版の試作版が完成し、その試験配布について報告があった。全国では茨城県、栃木県、愛媛県、静岡県が先駆けとして試験運用しており、静岡県に関しては医療者にのみ配布済みであると説明された。

沖縄県では、琉大病院の患者さん50人を対象として試験的に配布し、内容や利用方法についてのアンケートも実施する予定である。また、配布方法としては医師から患者さんに配布を行い、詳し

い説明については相談については相談支援センターが受持つ可能性があることが伝えられた。今後、件として実施された場合は、クリティカルパスの運用と並行して患者必携の使用方法についても研修会を開催する予定で、利用施設については今後、県と相談する事が伝えられた。

【協議事項】

1. 相談支援センター(沖縄県版)のチラシ・ポスター作成について

資料5に基づき、玉城委員より、相談支援センターのチラシ及びポスター安(A案・B案)が作成され、イラストデザインであるB案が全会一致で承認された。文言や追加情報に関しては、今後メーリングリストを利用し変更していくことが伝えられた。

2. リレーフォーライフについて・・・資料6

樋口部会長より、3月13・14日に開催予定のリレーフォーライフの出店内容について確認が行われ、以下の通り承認された。

3/13日(土)	3/14(日)
12～14時 中部病院 14～16時 琉大病院 16～18時 那覇市立病院	10～12時 北部地区医師会病院
<ul style="list-style-type: none"> ● がん相談ブースの設置 ● がん情報のパネル展示 ● 患者さん用のタオル帽子の展示 ● がん相談支援センターチラシの配布 	左記に同じ

3. 次年度の年間事業計画について

資料7に基づき、次年度の事業計画について協議された。その中で、実施済の項目(1・2・3・①、④、⑤)にかんしては削除し、以下の項目が改訂された。

平成22年度 事業計画

3. インターネットを利用した患者・がん相談実務者向けがん除法を発信する(協議会ホームページ及び拠点病院ホームページ上で、各がん種の基本情報、サロンや患者会等の紹介、セカンドオピニオンリストなどの公開など)
 - ①がん相談に関わる実務者に役立つ情報(がん治療の最新情報、書籍、ウェブサイト、Q&Aに関するリンク先(「アスベスト関係の相談窓口集」等)の充実を発信する。
 - ②沖縄県内の患者会リストを作成し、各患者会へ協議会ホームページへの掲載やリンクを提案する。
4. 準拠点病院またがん診療を行っている病院や地域の患者サロン設置普及に協力する。
5. 拠点病院や準拠点病院及びがん診療を行っている病院にて共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できる様、支援・連携を図る。

①がん相談実務者研修会で、「アスベストによる健康被害の救済に関する法律」について研修する。

7. ピアサポーター陽性の実施と各拠点病院でのピアサポートを実施する。

8. 垣根を越えたがん種別患者連合会結成の支援と沖縄県からの支援を求める(県内各福祉保健所の会場提供・広報等)。

11. セカンドオピニオン受診サポートプログラムの実現に向けて提案する。

12. 医師向けセカンドオピニオンアンケートの実施について

資料 7 に基づき、石郷岡委員と金城委員よりセカンドオピニオンアンケート（案）について、再度修正が加えられたことが説明された。その中で、新たに相談支援部会名と部会構成を追加してはどうかとの意見が挙がり承認された。また、今日の協議を基に再度金城委員が修正をし、来月には実施することが承認された。